

国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究

研究課題名	ハイパフォーマンススポーツにおけるメディカルプロブレムの標準化と特徴の抽出（JISSクリニックデータを用いた研究）
倫理審査委員会承認番号	2026-009
研究開始日	2026年6月9日
研究終了日	2031年3月31日
研究目的	本研究の目的は、日本のトップアスリートが抱えるケガや病気、メンタル不調の実態を明らかにすることです。集まったデータを分析し、アスリートが安全に、かつ高いパフォーマンスを維持しながら安心して競技に打ち込めるような、効果的な医療サポート体制の確立を目指します。
研究対象者	以下の条件に該当する方を対象としています（年齢や性別は問いません）。・JISSクリニックでメディカルチェック、または外来診療を受けられた選手 ・カルテ（診療録）、問診票、各種検査結果などのデータが確認できる方 ※骨の成長（骨年齢）に関する一部の解析については、手のX線画像データがある成長期の選手のみを対象とします。
研究概要	本研究では、JISSクリニックでこれまでに実施されたメディカルチェックや外来診療のデータを使用します。対象となる診療録や問診票、各種検査結果などの記録から、研究に必要な項目（基本属性、問診情報、検査・診療情報等）を抽出して研究用データベースを作成します。データの抽出に際しては、氏名など個人が直接特定できる情報はすべて削除し、個人が特定されないよう別のIDで厳重に管理します。こうした匿名化されたデータをもとに、トップアスリートが抱えるケガや病気、精神的な不調の現状を医学的・臨床的な視点から整理・分類します。実態を詳しく分析することで、ハイパフォーマンススポーツ領域における効果的な医療サポート体積の基準作りに役立てます。
研究に用いる情報の種類	基本情報：性別、年齢、身長、体重、競技名など 問診情報：過去のケガや病気の歴（既往歴、現病歴）、自覚症状、生活状況、体調（メンタルヘルスに関する記載を含む） 検査情報：血液検査、尿検査、心電図、胸部エックス線検査、手のX線検査（成長期アスリートの一部のみ）、呼吸機能検査、呼気NO検査、感染症などの各種迅速抗原検査 診療情報：カルテの記載内容、診断名、受診したきっかけ、治療内容、医師による医学的評価
研究の資金源	JISSスポーツ医・科学研究事業費
研究に係る利益相反及び個人の収益	本研究に係る利益相反や個人の収益はありません。
研究責任者	福嶋一剛/スポーツ医学研究部門
共同研究者	蒲原一之/スポーツ医学研究部門、友利杏奈/スポーツ医学研究部門、中嶋耕平/スポーツ医学研究部門、半谷美夏/スポーツ医学研究部門、西田雄亮/スポーツ医学研究部門、後藤和海/スポーツ医学研究部門、宇佐美真太郎/スポーツ医学研究部門、能瀬さやか/スポーツ医学研究部門、三ツ山晃弘/スポーツ医学研究部門、豊島由佳子/スポーツ医学研究部門、荻原正大/スポーツ科学研究部門、小島佑基/つくばセントラル病院、津田淳子/山手クリニック、上田由紀子/ニュー上田クリニック、篠原由梨/札幌医科大学、中山晴雄/東邦大学医療センター、中田由夫/筑波大学体育系
問合せ先	福嶋一剛・スポーツ医学研究部門・03-5963-0211・kazutaka.fukushima@jpnssport.go.jp